

# 特定指導法人の見直し基本方針(改定)の進捗状況(概要版)

全体の進捗状況としては、概ね順調に推移



取組項目毎の達成状況

全取組項目数：87項目

うち、見直しの目的達成( )：23項目

見直し方針通り順調に推移( )：51項目

継続検討等( )：12項目 判定保留(-)：1項目

## 【見直し項目種類別内訳】

組織の統廃合、組織のあり方

:10項目 :3項目 :7項目 - :1項目

事業見直し、事務効率化

:10項目 :21項目 :4項目

組織・人員のスリム化

:3項目 :7項目

収入確保等、組織の基盤強化

:20項目 :1項目

## 主な実績

### 組織の統廃合、組織のあり方

#### 3 公社の管理部門の統合

3 公社（栃木県土地開発公社、栃木県道路公社、栃木県住宅供給公社）の管理業務を統合（24年4月1日）

（財）とちぎ生涯学習文化財団と（財）とちぎ青少年こども財団の再編

（財）とちぎ未来づくり財団として再編（23年4月1日）

（社）栃木県治山林道協会、（社）栃木県緑化推進委員会、（財）栃木県森林整備公社の再編

森林整備公社の林業労働力確保支援センター業務を治山林道協会へ移管（23年4月1日）

治山林道協会と緑化推進委員会が合併し、（社）とちぎ環境・みどり推進機構が発足（23年12月1日）

森林整備公社が解散（25年4月8日）

#### 【公益社団法人・財団法人への移行状況】

H23以前 栃木県暴力追放県民センター、栃木県国際交流協会の2団体が移行

H24 栃木県育英会、とちぎ男女共同参画財団など11団体が移行

H25 栃木県消防協会、とちぎ未来づくり財団など6団体が移行

### 事業見直し、事務効率化

栃木県道路公社の県受託業務の民間開放（県）

県から公社へ委託していた長大トンネルの管理業務のうち、4トンネルを民間開放【H23】

## 主な実績（続き）

（公財）栃木県消防協会における指定管理業務の検討

事業の見直しを行い、「栃木県防災館」の指定管理者から撤退【H23】

風土記の丘資料館の管理検討（県）

なす風土記の丘資料館湯津上館を大田原市へ移管（24年4月1日）

（福）とちぎ健康福祉協会における高齢者相談事業の見直し

市町社会福祉協議会や法テラス等の相談事業の充実により、高齢者総合相談センター業務を廃止【H23】

（福）栃木県社会福祉協議会における業務や機能の精選化

国の制度見直し（システムの一元化）に伴い、介護サービス情報調査公表センターの指定を廃止【H23】

県内のNPO法人等の参入が進んだ福祉サービス第三者評価機関業務を廃止【H23】

（社）栃木県治山林道協会の委託業務の見直し（県）

県が協会へ発注していた全ての委託業務に指名競争入札を導入【H23】

下水道管理包括的民間委託の導入（県）

大岩藤浄化センター、思川浄化センターで試行的に導入していた包括的民間委託を平成25年度から他の処理場へ順次拡大【H24】

（一財）栃木県交通安全協会における委託業務の見直し（県）

県委託業務のうち、運転免許窓口業務等7業務について一般競争入札を導入【H23】

## 主な実績（続き）

### 組織・人員のスリム化

#### 組織のスリム化

《（公財）とちぎ男女共同参画財団》

23年4月に開設されたとちぎ男女共同参画センターにDV被害者に対する相談機能を一元化

#### 人員のスリム化

3公社（栃木県土地開発公社、栃木県道路公社、栃木県住宅供給公社）の管理業務の統合（24年4月1日）に伴い、3公社全体の役員、常勤職員数を削減

（公財）とちぎ未来づくり財団、（公財）とちぎ男女共同参画財団、（福）とちぎ健康福祉協会、（公財）栃木県産業振興センター、（公財）とちぎ建設技術センター、（公財）栃木県体育協会などの法人において、県派遣職員を削減

（一財）栃木県交通安全協会において、運転免許窓口業務の民間企業受託に伴う職員の削減を実施【H24】

### 収入確保等、組織の基盤強化

（公財）栃木県国際交流協会における自主財源の確保、賛助会員の拡大

JICA「草の根技術協力事業」の受託等による自主財源の確保【H24】

賛助会員数 H22：262 H23：311 H24：313

（公財）栃木県暴力追放県民センターにおける賛助会員の拡大

賛助会員数 H22：702 H23：704 H24：720